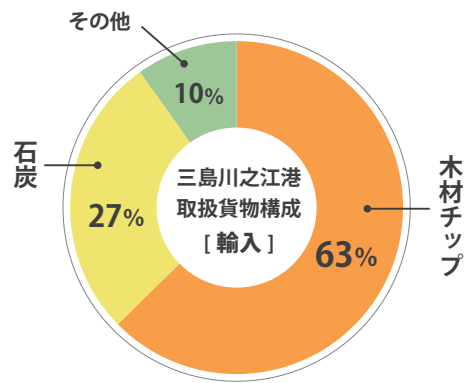
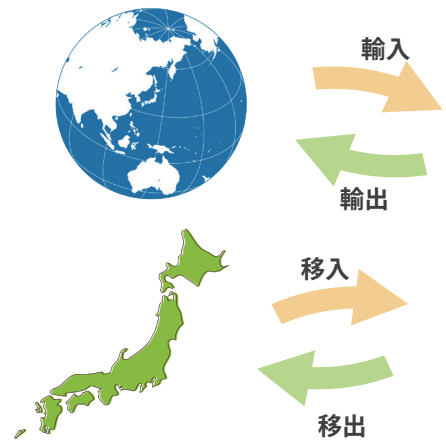


三島川之江港ってこんなトコ

年間 5000 隻！

三島川之江港には、毎年 5000 隻近い船が入港。海外からの「輸入」と海外への「輸出」、国内からの「移入」と国内への「移出」が行われています。

本市は、海や陸から運び込まれた原材料を使い、5109 億円もの紙関連製品を生み出す「**日本一の紙のまち**」です。
(2022 年経済構造実態調査)



輸入の 6 割がチップ

三島川之江港に輸入される貨物の 6 割以上が、紙の原料の「木材チップ」です。年間 100 隻を超えるチップ専用船が入港しています。

岸壁に着岸したチップ船から、隣接する工場のチップヤードに移されたチップは、パルプ化、紙製品化され、入港した岸壁とは反対側の岸壁から移出されていきます。

コンテナ船もたくさん

三島川之江港には、週に 16 便ものコンテナ船が入港しています。

海外からはパルプや不織布などが、国内からは古紙パルプの原料となる古紙や製紙の工程で使用する薬品などが運び込まれ、紙おむつなどの紙製品に加工された後、国内外に輸出・移出されています。



権現トンネル (中之庄町) 付近から撮影

RO-RO 船が就航

貨物を積んだトラックやトレーラーの荷台部分をそのまま輸送できる「RO-RO 船」が、週に 6 便就航。宇野港 (岡山)、堺泉北港 (大阪)、和歌山下津港※、千葉港を結んでいます。※和歌山下津港は週 1 回寄港

陸路に比べ、CO2 の排出や運転手の時間外労働が軽減できる RO-RO 船は、「カーボンニュートラル」や「物流の 2024 年問題」への解決策としても注目されています。



画像提供 大王海運 (株)

RO-RO (Roll On-Roll Off) 船
フェリーのようにランプ (斜路) を備え、トレーラーなどの車両を収納する車両甲板を持つ貨物船

大 正初期から始まった機械抄紙と和紙の生産により、当地の製紙産業は更に発展。海上輸送の役割も大きくなり、港湾の改修が進んでいきました。戦後、洋紙生産へシフトしていった本市の製紙産業。高度経済成長で紙の消費量が急激に高まると、原

料の木材チップが国内だけでは賄えなくなり、海外からの輸入へシフトしてきます。大型のチップ専用船が入港できるよう、港湾施設の整備が進み、昭和 44 年に外国との貿易が可能となる「開港」の指定を受けました。そして昭和 46 年には、日本の産業政策上、重要性の高い港湾である「重要港湾」に指定されました。

春休み直前企画

コンテナ取扱数 四国 No.1

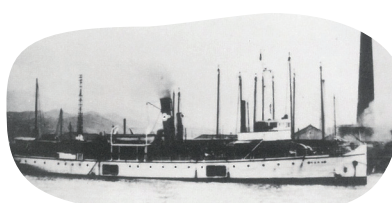
三島川之江港を知ろう

チップ輸入量 日本一

輸入貨物量 愛媛 No.1

外航船入港数 四国 No.1

港のシンボル「ガントリークレーン」
停泊する大型船や
積み上げられた色とりどりのコンテナ
海と山が近い本市では、
海に行けばその雄大さを
山に行けばその壮大さを
感じる事ができます。
暖かくなったら、
港の景色を眺めてみませんか。
今回の特集は、
「紙のまちランキング」18 年連続日本一を
海の玄関口として支え続ける
「三島川之江港」の発展の歴史や役割、
これからについてお知らせします。



大阪・新居浜間の定期船 (大正 11 年) 「伊予三島市史」より

産業を育て 産業に育てられた港「三島川之江港」



村松埋立地 (昭和 56 年) 「伊予三島のくらし」より

四 国高速道路の整備により「エックスハイウェイ」の結節点となった本市は、各県の県庁所在地への良好なアクセスを強みに、四国屈指の物流拠点になりました。陸上交通の発展と地場産業の発展を背景に、三島川之江港の取扱貨物量は増加入港する船舶の大型化や貨物の

江 戸時代中期に四国山地に近い山間の数戸から始まった手漉き和紙は、やがてこの地域の地場産業として定着しました。明治時代には県下を代表する紙どころとなりましたが、原料である三桧の確保が難しくなると、蒸気船を使い鳥取から仕入れるルートを開拓。大正時代には、定期船が日に 4〜6 便寄港するようになりました。

古 くから阿波・土佐・讃岐をつなぐ各街道が集結し、人や物資が多く行き交う場所であったこの地域は、千年以上前から交通の要衝として発展してきました。

高 度経済成長の一方で、大気汚染や水質汚濁などの公害が日本各地で発生。この地域でも問題化し、環境保全と産業振興の両立を目指して、臨海部の埋め立てが行われるようになりました。

教えてください **港のこと**

この人にお聞きしました

国土交通省
四国地方整備局 次長**森 信哉** さん

1966 年 京都府出身

1991 年 4 月 運輸省（現国土交通省）入省
関東地方整備局港湾空港部長や鉄道局安全
監理官、同施設課長など、数々の要職を歴任。

2023 年 7 月から現職。

**欠くべからざるもの**

四方を海に囲まれた日本
で、海外と交易するときは、
必ず港か空港を通ります。
これだけでも、港がいかに
重要な施設であるかとい
うことが分かります。

特に四国は、全国的に見
ても海上物流の比率が高く、
また、今なお多くの生活航
路が残っている地域です。
四国の人たちにとって港は、
「欠くべからざるもの」だ
と言えます。

こういったことを意識し
た上で、港の整備を進めて
いくことが、私たち四国地
方整備局の役割です。

**三島川之江港から
日本を元気に**

愛媛県東予地域は、工業
の集積地として四国の経済
を支えています。その中
でも紙製品を始めとする多
くの貨物を取り扱う三島川
之江港は、四国の中でも最
も重要な港の一つです。

RO-RO 船とコンテナ
船が就航していること、そ
して、多くのコンテナを取
り扱えることが三島川之江
港の強みです。

更に、エックスハイウェイ

**イと上手くつながることで、
四国の物流を大きく変える**

ことが出来る港です。物流
の拠点には、その受け皿と
なるさまざまな施設・企業
が集まっています。つまり
四国中央市、ひいては四国
を発展させる力を持つてい
る港だと言えます。

四国を助けられる港へ

40 年以内に 9 割の確率で
発生すると言われる南海
トラフ地震では、関東地
方から九州地方にかけて、
広範囲に被害が発生するこ
とが想定されています。そ
のため、全国から支援がす
ぐに四国に届けられること
は難しく、四国の中で助け
合うことを考えておかな
ければなりません。

現在も整備が進められて
いる三島川之江港には、巨
大地震に備えた港になるポ
テンシャルがあります。四
国を助けられる三島川之江
港、四国中央市になること
を願っています。

私と三島川之江港

私が幼稚園の頃、大阪商
船三井船舶株式会社（現
株式会社商船三井）で航海
士をしていた父が、チップ
専用船「大王丸」に乗船し、
世界各国から三島港（現
三島川之江港）に木材チッ
プを運んでいました。

父の乗る大王丸が帰港す
るときは、住んでいた大阪
から列車と連絡船を乗り継
いで、母と一緒に三島港ま
で会いに来ていました。伊
予三島駅で列車を降り、空
き地を抜けて港まで行った
こと、大阪商船三井船舶の
特徴であるオレンジファ
ンネル（煙突）の大きな船が
停泊していたこと、タラッ
プを登って船に乗ったこと
を今でも覚えています。

入省した時から、「思い入
れのある三島川之江港に関
わる日がいつか来るだろう」
と思っていましたが、50 歳
を過ぎてようやくその機会
が巡ってきました。こんな
ふうに、いろんな思いを持
って仕事をさせていただけ
ることをラッキーだと思っ
ています。こういった縁の
ある私が、三島川之江港の
お役に立てれば嬉しく思
います。

**三島川之江港を
もっと便利に
もっと身近に**

現在、物流業界では、環境
負荷の低減や運転手不足、時
間外労働の軽減のため、トラッ
クによる貨物輸送を鉄道や船
舶に切り替える「モーダルシ
フト」が進められています。
これらを背景に、今後、更な
る貨物量の増加が見込まれ
る三島川之江港ですが、荷捌
き地の不足や移送ルートにも
なっている国道 11 号の慢性的
な渋滞が大きな課題になっ
ています。

この課題を解消するため本
市では、関係機関と連携し、
複合一貫輸送ターミナルや臨
港道路の整備を国や県に要望
しています。

また本市では、市民の皆さ
まに港湾をもっと身近に感じ
ていただくために、「みなと
ウォーキング&RO-RO 船見
学」や「みなとフォトコンテ
スト」（2 ページに関連記事）
を産業祭に合わせて実施。出
前講座「港と共に発展したま
ち四国中央市」も行ってい
ます。皆さまのご参加、ご利用
をお待ちしています。

問い合わせ先

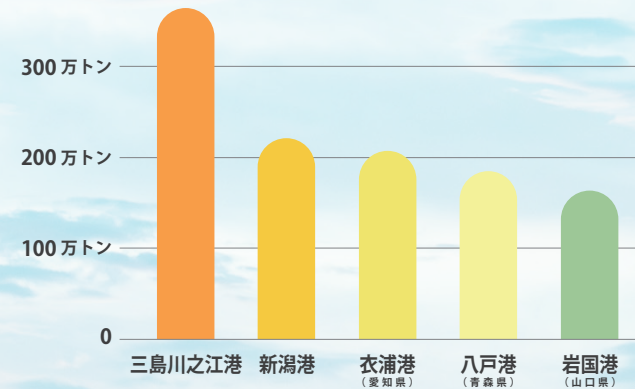
港湾課
28・6036

出前講座あります！

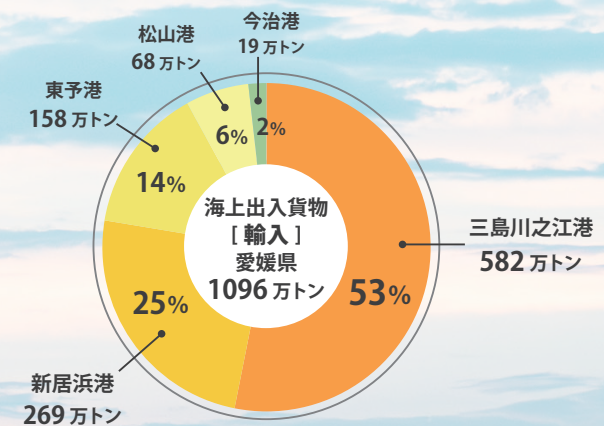
**三島川之江港の
ココがスゴイ！****チップ輸入量 日本一**

令和 4 年中に海外から三島川之江港
に輸入された木材チップの量は **365
万トン**。

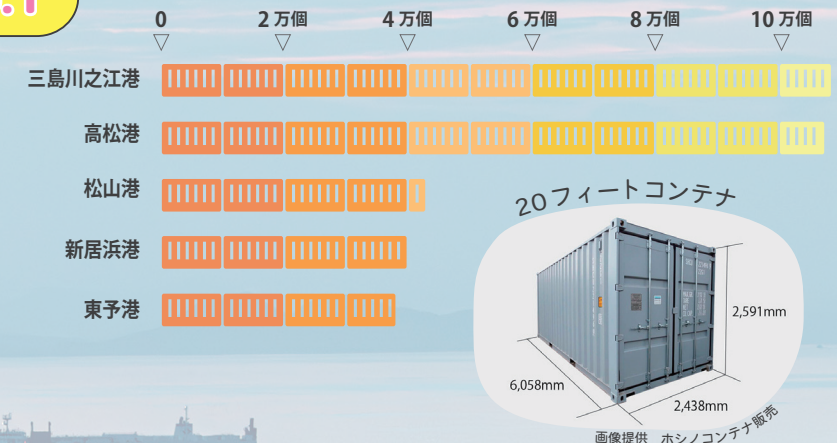
三島川之江港は、日本に輸入される木
材チップの約 14% を取り扱う、**日本
一の港**です。

**輸入貨物量 愛媛 No.1**

令和 4 年中に三島川之江港が取り
扱った輸入貨物の量は **582 万トン**。
県内にある重要港湾が取り扱った輸
入貨物のうち、半分以上が三島川之江
港に入港したものです。

**コンテナ取扱数 四国 No.1**

令和 4 年中に三島川之江港が取り
扱ったコンテナ貨物の数は、標準的な
20 フィートコンテナ **10 万 8 千個** 分。
三島川之江港は、四国にある重要港湾
の中で、コンテナを最も多く取り扱う
港です。

**外航船入港数 四国 No.1**

令和 4 年中に外国から三島川之江港
に入港した船舶は **463 隻**。
三島川之江港は、四国にある重要港湾
の中で、外航船が最も多く入港する港
です。



数値は全て「令和 4 年 港湾統計」（国土交通省 HP）より